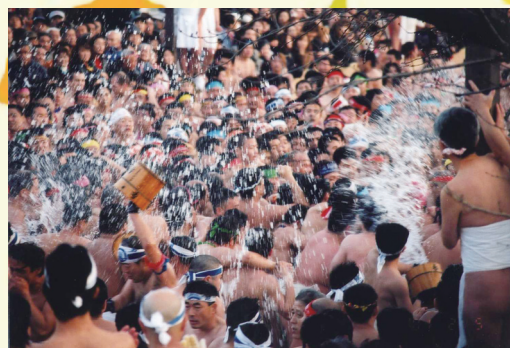


第50回記念東海地区公立小中学校事務研究大会

稲沢大会

学校・家庭・地域、次代へつなぐ学校事務の創生
～みんなで接(つ)なぎ、育もう! 子どもたちの未来(あす)～

平成30年11月8日(木)・9日(金)



国府宮はだか祭

稲沢市マスコットキャラクター
「いなっピー」



©Inazawa City



そぶえイチョウ黄葉まつり



稲沢市

(名古屋駅から名鉄・JRで約10分)

稲沢が誇る産業“植木”。そのルーツは鎌倉時代。矢合(やわせ)町国分寺の柏庵(はくあん)和尚が、中国で学んだかんきつ苗の「接(つ)ぎ木」の技術を持ち帰り、農家に伝授したのが始まりだと言われています。

大会のサブテーマの「接(つ)なく」は、「接ぎ木」をヒントに地域で生活し働く全員で子どもたちを育てていこうという思いを込めています。

会場／名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市民会館)他(予定)

主催／東海地区公立小中学校事務研究会

主管／愛知県公立小中学校事務職員研究会